

遊学舎武雄こども園 園だより

2024年（令和6年）度4月号

「174のこころ」

春は旅立ちと出逢いの季節。

我が子も先月卒園を迎えました。

最後の日の朝“送り届けるのはこれで最後か...”と思うと目頭が熱くなりました。

そして頭をよぎったのは、入園時、慣らし保育で初めて離れた朝のこと。部屋に送った後、今まではいつも一緒に乗っていた車に一人で乗り込み、涙したことを思い出しました。

保護者の皆様も、それぞれに様々な想いを胸に、大切な我が子（お子様）を預けられていることと思います。

本当にあっという間に過ぎていく乳幼児期。かけがえのないこの瞬間を共に過ごさせていただく幸せを感じながら、一人ひとりを大切に日々を積み重ねていきたいとあらためて想う春でした。

新入園児の皆さん、武雄こども園にようこそ。在園児の皆さん、進級おめでとうございます。お母さんの木の若葉の芽吹きと共に、新たな日々が始まります。

昨年度の卒園児さんが、「1番好きな人は誰？」という保護者様の問いかけに、ずっと「お母さん」と答えていたそうです。しかし、卒園間近となり、同じ質問をしたところ、「自分！」と答えが変わったそう。大人も子どもも「自分ってすごい！自分が大好き！」と思うことができるならば、不確かと言われているこの世界が、どれだけ輝きを帯びて見えるでしょう。

武雄こども園の園児さんや保護者様、職員にそんな人を一人でも増やすのが、私の密かな夢です。そのために私たちは「私は私のままでいい」「あなたはあなたのままでいい」という想いを大切に、「The One（園に関わる全ての人と現象が唯一無二）」を理念とした教育・保育を紡いで参ります。何の変哲もない一日でも、その子にとっては一生に一度。そんな想いを忘れず、皆様の宝物であるお子様を大切にお預かりします。

大人も何だか慌ただしく過ぎゆくこの季節。新しい環境に慣れようと小さな体で頑張っているお子様です。そんな日常に、確かに訪れる親子だけの特別な時間。それは、親子で眠りにつく前の、あの静けさ。しんと静まった部屋で、お子様がたてる寝息の温度を感じながら「あなたは私の宝物」とそっと伝えてあげてください。そうして、また新しい日々に親子で踏み出す強さに変えて頂ければと存じます。

日中はお子様の姿が見えず、ご不安になることもあるかも知れませんが、そんなご不安と、そしてそれ以上の愛情で彩られた保護者様の想いを忘れず、私たちはお預かりの間、お子様を包み込んで参ります。また、そんな保護者様ご自身のことも応援させていただきます。明日もそのままのあなたで大丈夫です。ご無理なさらず、ご自分らしく、「行ってらっしゃい。」





お母様の涙に、身が引き締まる想いでいた。大切な大切なお子様の新たな世界への旅立ち。まだぬかい我が子の手を初めて離れる時の寂しさや不安は、とても大きいことでしょう。私たちはそんな欠けがえのない一人ひとりを、朝お預かりしてからお戻りするその時まで、保護者様に負けない愛情で育てていくことをお約束します。育ちゆくお子様の大切な「今」を、一着に心預けて下さいね。子どもたちの心にも保護者様の心にも、寄り添い包んでいく私たちでありたいと願っています。これから、どうぞよろしくお願ひ致します。

新入園児の皆様、在園児の皆様へ、武雄こども園の教育・保育についてお知らせします

〈お子様が自分だけの根っこと翼を持つために～私たちが大切にしていること～〉

- ① 「そのままの自分を認められること」
ありのままの姿を受け入れ、認められることで、自分を信じ、人を信じる力を築きます。「私は私のままでいい」「あなたはあなたのままでいい」と、自分だけの輝きを大切にすることで、生まれてきたこの世界を好きになり、自分の人生の主人公として自分の物語を生きる子どもを育てます。
- ② 「夢中になって遊びこむこと」
遊びのなかで出会う喜びや驚き、不思議さや面白さに気づき、自分で考える力に繋がります。そしてそこで得た答えをお友だちと共有し、試行錯誤し、自分たちの最適解を見つけるようお手伝いいたします。そのために、子どもが主体的に遊びこむことができる環境に加え、サイエンス、アート、食育など大人も子どももワクワクする取り組みを行います。
- ③ 「自分の居場所を見つけること」
居場所とは、自分らしく安心して心地よく過ごすことができる場所です。心地よい居場所には、深い愛情が根底にあるもの。その居場所が、お子様だけが持つ輝きに繋がると信じています。
- ④ 「本物にふれる体験を 心揺さぶられる出会いを」
子どもだからこのくらいで良い、ではなく、子どもにこそ本物を。心が震えるような体験を経て、初めて得る、突き動かされる気持ちは、お子様の未来の羅針盤となると信じています。

